

日本競馬の現状と展望 The present conditions and the prospects of the horse racing in Japan

1K08B147-1

指導教員 主査 石井昌幸 先生

西村 元

副査 寒川恒夫 先生

【はじめに】

日本競馬が隆盛を見せ始めた 1980 年代後半、バブル経済と重なり飛躍的に売り上げを伸ばしていった JRA は、1997 年には売上高 4 兆円を記録するなど、巨大産業として名を馳せた。しかし現在ではその売上高もピーク時の 6 割程まで落ち込んでしまっている。

本論文では、ここ約 20 年間に於ける日本競馬界の実態を、良くも悪くも競馬の発展を支えてきた JRA という組織と、現在の競走現場を取り巻く環境に焦点を当てて考察して行く。

【第一章】 競馬の歴史と現行の競馬について

競馬の起源は、遡ると有史以前にまで至る。おおそ現代の、「洋式競馬」というものが行われるようになったのは 16 世紀のイギリスに於いてである。そして日本に伝わったのは、江戸時代の鎖国が解かれた時であった。その後軍用馬育成を目的に発展した競馬だが、今日ではそのような目的は皆無と言っても良い。

現在開催されている競馬は、戦後 GHQ 介入時に設立された日本中央競馬界、後の JRA によって運営されている。そしてその中身は、馬主、調教師、騎手の登録、管理から、馬券販売に至る、ほぼすべての内容を含んでおり、JRA の権利の一極化という事態が視える。

こういった背景からも、競馬界の未来は JRA にかかっていると言っても過言ではないのである。

【第二章】 JRA の取り組みと課題

JRA は、今後競馬を国際的スポーツエンターテインメントとして発展させるために、ファン向けに様々な取り組みを行っている。その中で、お客様への配慮や、社会への貢献、競技としての公正確保、競技力の向上といった項目を挙げ、競馬を国民的レジャーにするよう、目指していると述べている。

しかし取り組み自体成功しているとは言い難い。多種多様な馬券システムと、利便性向上を図った馬券販売システムは、馬券の購入単価と、競馬場への来場者数を低下させてしまった。中でも、バブル期以降の新規場外馬券売り場創設への過剰投資は、結果として国民との対立や、競馬自体が、今だに社会悪として捉えられているという面もあるということを、ある種証明してしまった。

しかし、問題の根本は外ではなく中にもあった。それらは、コスト面での無駄の多さに加え、組織としての閉鎖性というものが挙げられる。これらは、農水省管下であることと、長年の慣習を重んずるという二つの要因に起因し、売上高減少と赤字

転落という事態に陥った現在では、抜本的な改革に踏み出さなくてはならないのである。

【第三章】 競技としての競馬～国際化に向けて～

競馬の国際化に関しては、主に競技面での取り組みを見るとわかりやすい。JRA としては、1981 年に「ジャパンカップ」を創設し、海外競馬の受け入れを試みた。当時あった競走馬の力の差は、現在に於いては限りなく少なくなっており、その背景には種牡馬導入に於ける試行錯誤があったからだと言える。

しかし近年では、海外馬の日本への参戦を阻害する、馬場、検疫制度といった問題も抱えており、門戸開放を謳う JRA には、対策が必要とされている。これに加え「血の飽和」に見られる、交配時の選択肢の減少も問題となっており、新たな種牡馬の導入も急がれている。

こういった課題を解決しない事には、競技としてのレベルアップと、海外向けのアピールもできなくなってしまう恐れがあると言える。

【第四章】 競走現場を取り巻く環境

第一章でも述べたとおり、調教師も騎手も JRA の管轄下に置かれている。こういった状況は、真の競争原理を失わせ、公正確保の面でも疑問があると指摘されている。

調教師の内厩制問題、騎手の調整ルーム入室義務の制度に代表されるように、とかく閉鎖的な環境を好む JRA だが、競技力向上に伴う国際的アピールが必要な今、それら諸制度を見直し、スポーツの醍醐味である、競争を促していく必要がある。

【おわりに】

JRA として、公正確保、競技力向上、レジャーの提供を訴えているが、実際にそれを意識しているか疑問に感じる面が多々あった。そのいずれもが、組織としての閉鎖性に起因することが多く、そうでなかったとしても往年の体質が染みついているといった印象を受けた。

これから競馬が発展していくには、まさに競技力の向上に伴う、海外へのアピールが重要になってくると言え、そのためにも、JRA としては単に競馬を開催するのではなく、今まであまり目を向けていなかった、競馬の根幹でもある競走馬生産の部分に目を向け、実利的な取り組みをしていくことに期待したい。